Pichari ～ピチャリ～
七飯町歴史館だより
第227号

ななえ古写真物語

VOL.227

往時の活況はいずこ



吉野山を望みつつ
昭和40年代
大沼地区

七飯町随一の観光地である大沼。かつては、修学旅行生で溢れる風景もあったが、現在は外国人旅行者の姿の方が多く見られるなど、時代の変化を感じてしまう。とはいえ、観光地である側面から、お土産屋や宿泊施設、食事処など、受入れ側も時世に合わせ、頻繁に変化せざるを得ないのが実情で、その変遷を詳細に記録することは難しく、当館のような施設にとっては、大きな悩みの種でもある。そのため、町並みの写真などは、何枚あっても足りない貴重な史料だと考え、この誌面上でも少しずつ紹介してきた。

今回は、大沼周遊道路と交差する道々大沼公園鹿部線に商店が軒を連ねている、昭和40年代から50年ころまでに撮影されたと考えられる写真を紹介したいと思う。

写真奥に見えるのは吉野山で、山肌の木々が伐採されて、２コース分あるのがうかがえる。現在もその名残はあるのだが、廃業後、木々が生い茂ったため、これほどまで明瞭ではない。しかし、この写真が撮影された時期は、スキー人口も多く、営業していたため、滑走エリアがしっかりと区分けされている。また、道路はまだ舗装化されておらず、両脇に新設されたと思われる側溝が見られる。同じ道路の奥側は舗装化されているので、もしかしたら、舗装化工事の最中だったのかもしれない。

次に、道路両脇に目を向けると、現在は空き地が多くあるエリアに、店舗が立ち並んでいる。右手前は、「京屋」というお土産屋で、熊の木彫りやドングリを用いて製作された人形（ドングリ坊ちゃん）が売られていた。その奥には、「おそば」の看板が掲げられた「駒見庵」という蕎麦屋がある。昭和59年の住宅地図で確認したところ、「駒寿司」という店に変わっていたので、この後に、営業形態を変えたのだろう。さらに奥には「大沼荘」と判読できる二階建ての建物がうかがえる。おそらくは民宿のような施設だろうが、同じく昭和59年の住宅地図では「北海ラーメン」と「北の宿村岡」という店になっていた。宿泊を残しつつ、飲食部門を強化したのだろう。今では、大沼ビールを扱う「ブロイハウス大沼」がこの場所にあるくらいなのが、少し寂しい気がする。

反対側手前には、店舗は写っていないが「レストハウス アスカ」の看板が見える。手前に店舗開店時に掲げられる花輪のようなものもうかがえるので、もしかしたら、開業間もない時期だったのかもしれない。その奥にも３軒ほど木造の建物が見られるが、写真からは何の店舗なのか判別できなかった。

現在、パソコンで現況が見られる時代となった。試しに撮影場所を360°見渡してみたが、往時の活況が幻だったかのように感じた。

日進月報

<2026. 10>

14日　鹿部小学校さんの見学

鹿部小学校３年生が来館しました。茅葺き民家の中のむかしの道具や季節ごとに使用する農具などを解説しました。民家の中には、今では使われない道具や仕組みがたくさんあります。囲炉裏や台所道具、裁縫道具、家の構造を知るのも新たな発見になるかも知れません。自分の目で見て、耳で聞いたこと、あとで思い出してくれると、嬉しく思います。同じ３年生でも、町の主要な産業や特色に合わせ、解説を変えることも可能です。昆虫が好きな児童がいるので、くわしいお話を、というリクエストがあることも。来て良かった！と感じてもらえるよう、お手伝いさせていただきます。





18日ジュニア探検クラブ

この日の午前は、見本園で育成しているブドウを使い、ジュースとゼリーを作りました。それぞれが分担して作業し、季節の味を堪能しました。午後は正確さと手先の器用さが仕上がりに出る標本づくり。７月に自分たちで採集した昆虫を、お菓子などの箱を利用し作るのですが、必要な長さを測ったり、カッターを使い、切り取ることに難儀する子が続出。あっという間に時間は過ぎましたが、たくさんの笑顔に出会えた一日でした。





テーマ展が終了しました。

８月２８日から開催していたテーマ展『大沼を知るための３３のこと』が１１月１日をもって終了しました。多くの方にご来館いただき、感謝申し上げます。多様な魅力に富む大沼を再発見することはできたでしょうか？地元の方、また行楽地として訪れたことのある方に今はない大沼の商店や、思い出を聞くことができました。大沼に関する収蔵品は絵葉書が多いのですが、もし古写真などをお持ちの方がいましたら、歴史館までご一報下さい。





12月の予定

1	火	ロビー展開催中
2	水	
3	木	
4	金	
5	土	
6	日	
7	月	休館日
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	
12	土	
13	日	
14	月	休館日
15	火	
16	水	
17	木	夜の博物館 第１夜
18	金	
19	土	
20	日	
21	月	休館日
22	火	
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	ジュニア探検クラブ
27	日	
28	月	年末年始休館日
29	火	
30	月	
31	火	

※休館日：7日、14日、21日、28～31日

円空仏

常設展示室にある円空仏は複製です。時折、じっと動かず見ている方もいる、密かな人気の展示物。



編集後記　～tawagoto～

季節の伝承の中に多雪予測の兆象がある。動物のサインのなかでも、特に家の中で越冬するタイプのカメムシの関わりは深いそうだ。カメムシが多く発生すると雪が多くなるという伝承は広く分布する。臭いが厄介なカメムシも「お姫さん お姫さん」、「ホーヒメ ホーヒメ」といって持つと臭くないとか、その形から裃（かみしも）と呼んだ地域もあるとか。まつわる伝承は興味深い。とは言え、網戸で蠢く姿を見るとやっぱり好きにはなれない。

Pichari ～ピチャリ～

第227号

令和8年（2026年）11月20日発行

七飯町歴史館

〒041-1193　亀田郡七飯町本町６丁目１－３

電話 0138-66-2181 FAX 0138-66-2182

E-mail：rekishikan@town.nanae.hokkaido.jp